

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 3 月 22 日 (2012.3.22)

【公開番号】特開 2011-99106 (P2011-99106A)

【公開日】平成 23 年 5 月 19 日 (2011.5.19)

【年通号数】公開・登録公報 2011-020

【出願番号】特願 2010-279729 (P2010-279729)

【国際特許分類】

C 08 G 65/329 (2006.01)

C 08 G 77/38 (2006.01)

【 F I 】

C 08 G 65/329

C 08 G 77/38

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 1 月 14 日 (2011.1.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

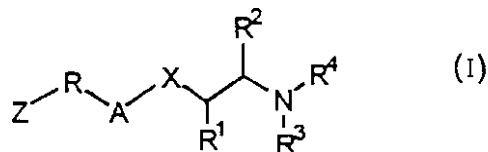
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (I) を有する付加物を含む両性イオン。

【化 1】



(式中、

Z は両性イオン基であり、

X はカルボニル基、スルホン基、スルホニウム塩、及びホスホニウム塩から成るグループから選ばれた電子吸引基であり、

R は、直鎖状及び分岐状アルカンジイル、アルケンジイル、アルキンジイル、シクロアルカンジイル、シクロアルケンジイル、シクロアルキンジイル、アリーレン、アルカリレン、アラルキレン、アルコキシアリーレン、アルコキシアルキル、オリゴアルコキシアルキル、モノ-及びジ-アルキルアミノアルキル、N-アリールアミノアルキル、N-アリール-N-アルキルアミノアルキルであり、

R¹ と R² は、水素及び C₁ - 6 アルキルから成るグループから独立に選択され、

A は O あるいは N R⁶ であり [式中、R⁶ は水素及び C₁ - 6 アルキルから成るグループから独立に選択される]、

R³ は水素、直鎖状及び分岐状のアルキル、アルケニル、及びアルキニル基、アルコキシカルボニル、アルキルアミノカルボニル、シクロアルキル、シクロアルケニル、シクロアルキニル、ハロアリール、ハロアルキル、アリール、アルカリール、アラルキル、アルコキシアリール、アルコキシアルキル、オリゴアルコキシアルキル、アミノアルキル、モ

ノ - 及びジ - アルキルアミノアルキル、アリールアミノアルキル、N - アリール - N - アルキルアミノアルキル、N - アリール - N - アミノアリール、アシルオキシ、アシルオキシアルキル、アシルアミノアルキル、及びN - ジアシル - イミノアルキル基、モノ - 及びジ - アルキルアミノカルボニル、オルガノシリル、アリールアミノカルボニル、アリール (アルキル) アミノカルボニル、及びオルガノシロキシル基、そして、

反応基、

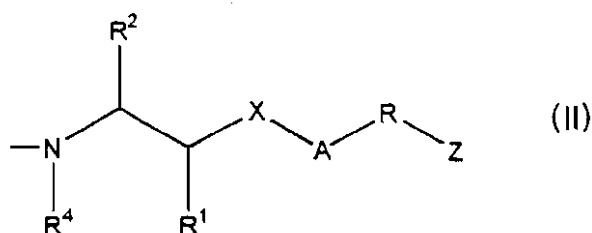
NHCOOR⁵ 基 [式中、R⁵ は、水素、直鎖状及び分岐状のアルキル、アルケニル、及びアルキニル基、シクロアルキル、シクロアルケニル、シクロアルキニル、ハロアリール、ハロアルキル、アリール、アルカリール、アラルキル、アルコキシアリール、アルコキシアルキル、オリゴアルコキシアルキル、アミノアルキル、モノ - 及びジ - アルキルアミノアルキル、アリールアミノアルキル、N - アリール - N - アルキルアミノアルキル、N - アリール - N - アミノアリール、アシルオキシアルキル、アシルアミノアルキル、及びN - ジアシル - イミノアルキル基、ヒドロキシアルキル、ヒドロキシアルケニル、ヒドロキシアルキニル、ヒドロキシアリール、ヒドロキシアルコキシアルキル、及びヒドロキシ (オリゴアルコキシ) アルキルからなるグループから選択される]、

- NHCONR⁷R⁸ 基 [式中、R⁷ と R⁸ とは、水素、直鎖状及び分岐状のアルキル、アルケニル、及びアルキニル基、シクロアルキル、シクロアルケニル、シクロアルキニル、ハロアリール、ハロアルキル、アリール、アルカリール、アラルキル、アルコキシアリール、アルコキシアルキル、オリゴアルコキシアルキル、アミノアルキル、モノ - 及びジ - アルキルアミノアルキル、アリールアミノアルキル、N - アリー - N - アルキルアミノアルキル、N - アリール - N アミノアリール、アシルオキシアルキル、アシルアミノアルキル、及びN - ジアシル - イミノアルキル基、ヒドロキシアルキル、ヒドロキシアルケニル、ヒドロキシアルキニル、ヒドロキシアリール、ヒドロキシアルコキシアルキル、及びヒドロキシ (オリゴアルコキシ) アルキルからなるグループから選択される] あるいは重合体のいずれかで置換されたいずれかの上記基からなるグループから選択され、

R⁴ は、水素、直鎖状及び分岐状のアルキル、アルケニル、及びアルキニル基、アルコキシカルボニル、アルキルアミノカルボニル、シクロアルキル、シクロアルケニル、シクロアルキニル、ハロアリール、ハロアルキル、アリール、アルカリル、アラルキル、アルコキシアリール、アルコキシアルキル、オリゴアルコキシアルキル、アミノアルキル、モノ - 及びジ - アルキルアミノアルキル、アリールアミノアルキル、N - アリール - N - アルキルアミノアルキル、N - アリール - N - アミノアリール、アシルオキシ、アシルオキシアルキル、アシルアミノアルキル、及びN - ジアシル - イミノアルキル基、モノ - 及びジ - アルキルアミノカルボニル、オルガノシリル、アリールアミノカルボニル、アリール (アルキル) アミノカルボニル、及びオルガノシロキシル基、そして、

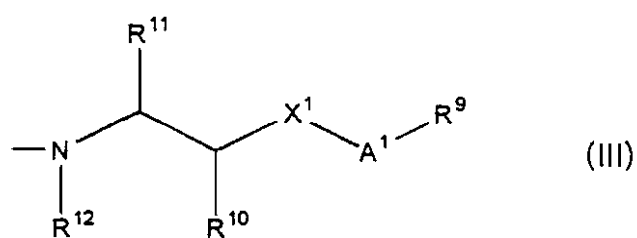
グループ I I

【化 2】



[式中、R、R¹、R²、R⁴、Z、A は式 (I) におけるものと同じである]、グループ I I I

【化 3】



[式中、 A^1 は O あるいは NR^{13} (式中 R^{13} は水素または C_{1-6} アルキル) であり、 X^1 はカルボニル、スルホニル、スルホニウム、ホスホニウム基から選択される電子誘引基であり、 R^{12} は H または C_{1-6} アルキルであり、 R^{10} 及び R^{11} は H と C_{1-4} アルキルから独立に選択され、 R^9 は任意に置換されたアルキルまたはアリールである]、

反応基、または

重合体のいずれかで置換されたいずれかの上記基からなるグループから選択される。)